

食料安全保障アドバイザーボード第1回会合 議事要旨

日 時：2021年2月19日（金）10:30～12:00

場 所：Web会議システムを用いたオンライン開催

出席委員：野口委員、平澤委員、三輪委員、佐野委員、末川委員、中井委員

議題：新型コロナウイルス感染症の拡大による食料供給への影響について

【議事概要】

（農林水産省より、資料に沿って「食料安全保障アドバイザーボード」の設置の趣旨、「我が国における食料安全保障の取組」、「新型コロナウイルス感染症の拡大による食料供給への影響」について説明。）

- ・ 今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、物流、加工・製造現場などフードサプライチェーン上のリスクが顕在化したという点で、学ぶべき所が多かった。
- ・ 物流の停滞によるコンテナ不足、通関書類等の事務処理上の物理的な問題など、これまでには想定されなかった課題も明らかになった。
- ・ 昨年前半の感染拡大期においては、マクロの食料需給には問題はなかったが、世界的豊作、主要な輸入先国における業務継続などの好条件が重なっていたという面もある。
- ・ 昨年秋以降は、中国の旺盛な穀物需要の復調や投機的な資金流入による穀物価格の高騰など別次元の問題も発生している。
- ・ 消費者へ落ち着いた購買行動を呼びかけていたが、そのアナウンスの効果を分析して欲しい。
- ・ サプライチェーンは民間企業が担っており、コロナ対応で得られた知見、優良事例を収集していくことも必要。

（以上）